

かわさきコロナ情報（動画特設ページ）

#50 令和3年8月20日 ～自宅療養者への医療支援について～

こんにちは、川崎市長の福田紀彦です。

川崎市内の感染状況について申し上げますと、感染拡大が現在も続いていて、入院されている方は今日時点で268名いらっしゃいます。

市内の医療機関には、このベッドの数をさらに拡大してくださいということで、市の病院協会の皆さんにもお願いさせていただいて、順次拡大をしていただいています。

近日中にはトータル350以上の数を目指してですね、今、随時増やしていただいているところですが、現時点では本当にパンパンな状態というふうになっています。そんな中で、自宅療養されている方の数も非常に増えています。

2週間前は約1800人の方だったんですが、現時点では約3500人の市民の方が自宅で療養されているという状況にあります。そこで、8月の下旬からですね自宅で医療を受けるといことができるような体制整備について、関係各局のところにも遺漏なきよう対応をということで指示をしておりますし、また今日は、医師会長、それから薬剤師会長にも御同席をいただいておりますけども、こういった連携を強化してこれまでも取組を進めていますが、これからさらに連携強化して取り組んでいくということで、それぞれ御発言をいただきたいというふうに思っています。

それでは岡野医師会長からまず御発言をいただければと思います。

---

（公益社団法人川崎市医師会 岡野敏明会長）

御紹介預かりました川崎市医師会の会長を務めております岡野と申します。どうぞよろしくお願いたします。

今まさに一番課題となっております自宅療養、これはいわゆる災害レベルの課題という認識しております。会員はまず、検査、そして発熱外来、これを行った時点で、今後予想される症状に対する処方を通常よりもさらに長く、一度自宅療養が入ってしまいますと医療を自由に受けることもできませんし、処方を自由にもらいに行くことができませんので、検査の段階で、初診の段階で、ある程度の10日近くの処方をしていただくということを会員の方にも徹底、周知をお願いしていきたいと考えています。

また、さらに何かあれば、症状に変化があればですね、今後、我々初診の先生たち、または保健所の業務において、どうも主治医の先生が見つからないというようなそういうケースに対して、保健所業務を補完する、そういった意味からもですね、その処方に対して、自宅療養中の症例に対してもしっかりと対応していただききたいと考えております。

また、今後は平日の診療だけに限らずですね、平日夜間そして日曜祝日、そういった夜間

帯や休日におきましてもある程度役割を分担し、そういった時間帯であっても対応いただける医療機関としっかりとした連携・連絡を取りながらですね、この往診、または電話対応、オンライン診療、こういったところにリストアップをしてですね、そことも連携をしっかり取っていきたいと考えております。そういった体制をさらに強化していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

---

ありがとうございます。それでは金子薬剂师会長お願ひします。

---

(一般社団法人川崎市薬剂师会 金子弘之会長)

川崎市薬剂师会会長の金子でございます。

自宅療養者に必要な薬剂をお届けするという業務に関しましては、現在も全力で取り組んでいるところでございますが、今後なお一層、医師会と連携を図りまして、薬剂师会としての体制を一層強化し、いつでも、できるだけ早く必要な薬を届けられるという役割を果たせますように今後努力して参りますので、よろしくお願ひいたします。

---

ありがとうございます。

こういった薬剂师会の皆さん医師会の先生方、こういった方々としっかり連携してですね、自宅で療養されている方たちに電話で、あるいはオンラインで診療できる体制、そしてお薬をですね長めに処方する、また1日も早く、即時にですね、お薬が届くような体制構築を整えるべく、環境整備に努めてまいりたいというふうに思ひます。

そして何よりも皆様にはですね、こうやって医療関係者の皆さんが一生懸命この病床を確保したり、診療にあたっていただいたりしておりますけども、何よりも新しい患者、新規陽性者を出さないということが何より大事でありますので、どうか皆さんの御理解と御協力を引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。